

令和元（2019）年度 栃木県浙江省友好交流員レポート(11月)

栃木県浙江省友好交流員 工藤瑠理

1 1月の浙江省

ここ最近の浙江省は、冷える日が増えており、日中も気温が上がらない日があります。付属の暖房器具以外(電気毛布等)の利用が禁止されているため、湯たんぽ代わりに水筒にお湯を入れるなどして、暖をとっています。他の日本人の方はタオバオ（中国のショッピングサイト）で充電式の湯たんぽのようなものを購入し利用している方もいました。

10人のクラスメイトとの四川旅行

11月8日から11月13日まで四泊六日の四川旅行に出かけました。今回は人数も行きたい場所も多かったため、タイ人のクラスメイトの友人の紹介で運転手2人と車二台を手配しての旅行になりました。

8日の夜の便で成都空港に向かい、翌日9日の朝に空港で運転手と合流し、松坪沟に向かいました。標高2,000メートル程の場所にあり、帰ってきてから調べましたが、地震遺産だそうです。上りの道では少し息が上がりましたが、エメラルドグリーン湖が美しかったです。

10日は黄龙に向かい、主要な景観を見るため、私たちはまずロープウェイに乗りました。ロープウェイを降りるとすでに標高3000メートル程で驚きました。途中の道に酸素バーがあるのも納得でした。クラスメイトの中で一人酸素バーを利用している子がいましたが、一回3元(1元16円ほど)でした。木の階段を上る際にはなかなか息が上がりました。人によっては高山病になる場合もあると思うので、体調と相談しながら登る必要があると思います。展望台から見る五彩池は本当に美しかったです。



11日は九寨沟に向かいました。九寨沟は1日の入場人数が5,000人に制限されるほど人気のある観光スポットです。黄龙に比べ標高が低く、様々な景点への移動は観光シャトルバスを利用したので、比較的楽に過ごすことができましたが、前日までとは比でない人の多さでした。鏡海など美しいスポットが数多くありました。ここでは民族衣装を着て記念撮影もしました。



12日は朝早くから成都に向けて出発し、15時ごろに宿に到着しました。移動が長かったこともあり、少し休んで夕方から地下鉄に乗り、夜の成都を少し味わうことができました。成都の繁華街にはイトーヨーカドーや伊勢丹などがあり、面白かったです。また、日本で言うところの横浜や神戸のような雰囲気のエリアもあり、イルミネーションが素敵でした。



13日はパンダ繁殖研究基地という強烈な名前前のパンダに特化した動物園に行きました。動物たちが広い敷地の中でのびのびと生活している印象でした。赤ちゃんパンダも見ることができ、大満足でした。もちろんパンダが一番多いですが、レッサーパンダや大きな鳥もいました。頭上に鳥がいてとても驚きましたが、動物にとって素晴らしい環境だと感じました。



この旅行を通して、多くの素晴らしい絶景を見て、日本ではできない体験ができたことはもちろん貴重な経験でしたが、クラスメイトたちと共に過ごし、中国語でコミュニケーションをとることに慣れ、愉快的時間を過ごせたことが一番の収穫だったように思います。また、クラスメイトとの会話の中で、栃木県のある場所や栃木のいちごについても触れることもできました。



11月11日（独身の日）

この日は、タオバオという通販サイト全体でセールをしているので、中国に住む人の多くは、自分へのご褒美や家族へのプレゼントを購入するそうです。

私は旅行先でネット環境が悪いことを予期して友人に通販の注文をお願いしました。この前後の期間は留学生の間でも、「独身の日は何を買うの？」が定番の会話文句になっていました。一緒に旅行に行ったメンバーの中でも、11月11日になる瞬間をそわそわしながら過ごす人がいました。

旅行から帰ってくると、普段の荷物受取所の他に臨時の荷物受取所が設けられていました。荷物を取りに行った際には人の多さと空き段ボールの山に圧巻でした。中国に住む人にとって、独身の日がかなり特別なイベントなのだと実感しました。



宝石山

平日の夕方に中国人の友人に案内してもらい、宝石山という低めの山に登りました。頂上からの眺めは西湖などの自然豊かな景色と賑やかな街の景色が混在していて、とても素敵でした。まだ西湖周辺で行けていない場所がいくつもあるのでこの留学期間でできる限り回りたいと思っています。

この日は、登山後に中国のチェーン店で夕食を食べました。友人は日本や日本語に関心があるので、食材や場所の名前、会話文句を相互学習でき、とても有意義な時間になりました。同時に日本語を教える難しさも感じました。今後もできる限りこのような時間を作りたいと考えています。

